

# 派遣留学生帰国報告書

\* 復学後の情報を入力してください

|         |             |  |  |
|---------|-------------|--|--|
| 記入日     | 2017. 7. 24 |  |  |
| 所属学部    | 融合理工学府      |  |  |
| 所属学科・専攻 | 創成工学専攻      |  |  |

## 1. 留学先について

|          |   |  |                                    |
|----------|---|--|------------------------------------|
| 留学先大学名   | L'École de design Nantes Atlantique   |  |                                    |
| 留学先所属学部等 | 3C Brand Design   |  |                                    |
| 留学期間     | 出発日 2016. 9. 18   | 入学日 2016. 9. 28  | 修了日 2017. 1. 23 帰国日                |
| 住居       | <input checked="" type="checkbox"/> 大学(紹介)の寮・アパート <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他( ) |  |                                    |
|          | 通学時間  | 40分  | <input type="checkbox"/> On campus |
|          | 通学方法  | バス+徒歩  |                                    |
|          | 居室スペース  | <input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> ( ) 人部屋 <input type="checkbox"/> その他( )  |                                    |
|          | 共有スペース  | <input type="checkbox"/> 完全個室 <input checked="" type="checkbox"/> キッチン <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> リビング <input checked="" type="checkbox"/> その他(ランドリー/コモンスペース/ブレイクルーム) |                                    |
| 食事       | 自炊 70 %   | 学食 10 %  | 外食 20 % その他 ( ) % *%で記入してください      |
| 保険       | 海外旅行保険(名称)  | 海外旅行保険「tabi hoたびほ」   |                                    |
|          | 大学指定の保険(名称)   |  | <input type="checkbox"/> 強制加入      |
|          | その他   |  |                                    |
| 渡航ルート    | ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)  |  |                                    |
|          | 羽田 ⇄  | パリ(飛行機)  | ⇄ ナント(飛行機)                         |

## 2. 留学にかかった費用について

|     |                                  |   |   |         |   |        |   |
|-----|----------------------------------|---|---|---------|---|--------|---|
| 総費用 | 1,500,000                        | 円 | *おおよそでかまいません。   |         |   |        |   |
| 出処  |                                  |   |   |         |   |        |   |
| 自費  | <input type="checkbox"/> 貯金      | 円 | <input type="checkbox"/> アルバイト                          | 円       | <input type="checkbox"/> その他            | 円      |   |
| 援助  | <input type="checkbox"/> 両親      | 円 | <input type="checkbox"/> 家族・親戚                          | 円       | <input checked="" type="checkbox"/> その他 | 100000 | 円 |
| 奨学金 | <input type="checkbox"/> JASSO   | 円 | <input checked="" type="checkbox"/> その他名称(トビタテ!留学JAPAN) | 1440000 |   | 円      |   |
| その他 | <input type="checkbox"/> 千葉大学助成金 | 円 | <input type="checkbox"/> その他( )                         |         |   | 円      |   |

## 2-1. 財政管理の方法

|     |  |  |  |                                 |     |
|-----|--|--|--|---------------------------------|-----|
| 渡航時 | <input checked="" type="checkbox"/> 現金 | 30000                                      | 円  | <input type="checkbox"/> その他( ) | 円   |
| 留学中 | <input type="checkbox"/> 海外送金          | <input checked="" type="checkbox"/> キャッシング | <input checked="" type="checkbox"/> その他( ) | クレジットカード                        | ( ) |

## 2-2. 各費用の支払い方 ex.)全額、クレジットカードで。

|           |                   |
|-----------|-------------------|
| 大学に払った費用  | なし                |
| 住居にかかった費用 | 16万、クレジットカードで。    |
| その他       | 59万、現金/クレジットカードで。 |

## 2-3. 内訳

\* 外貨で払ったものについては日本円に換算したおおよその金額も記入してください

| 費目                    | 外貨金額 |       | 円貨金額    |   |
|-----------------------|------|-------|---------|---|
|                       | 通貨単位 |       |         |   |
| 渡航費(往復)               |      |       | 160,000 | 円 |
| 海外旅行保険                |      |       | 163,340 | 円 |
| OSSMA                 |      |       | 10,000  | 円 |
| 査証・在留許可証              | €    | 60    | 7,500   | 円 |
| 住居                    | €    | 1,300 | 162,500 | 円 |
| 食費                    | €    | 280   | 35,000  | 円 |
| 通学に要する交通費             | €    | 175   | 21,875  | 円 |
| 教科書、教材費               | €    | 100   | 12,500  | 円 |
| その他大学に支払った経費          |      |       |         | 円 |
| 光熱費                   |      |       |         | 円 |
| その他 ( プロジェクト参加費、美術館 ) | €    | 350   | 43,750  | 円 |
| その他 ( 交通費 )           | €    | 600   | 75,000  | 円 |
| その他 ( )               |      |       |         | 円 |
| その他 ( )               |      |       |         | 円 |

## 3. 学業面

| 履修科目名 * 全て。足りない場合には別紙に記入してください。  | 種類 <sup>ex.</sup> 正規、聴講 | 単位数 | 単位互換認定<br>申請の有無  |
|----------------------------------|-------------------------|-----|--|
| 1 French language and culture S1 | 正規                      | 4   | 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> |
| 2 Anthropology                   | 正規                      | 2   | 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> |
| 3 Narrative Images S1            | 正規                      | 2   | 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> |
| 4 Graphic Design S1              | 正規                      | 4   | 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> |
| 5 Visual arts S1                 | 正規                      | 2   | 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> |
| 6 Methodology workshop S1        | 正規                      | 2   | 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> |
| 7 Long Design project S1         | 正規                      | 5   | 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> |
| 8 Brand Design workshop S1       | 正規                      | 3   | 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> |
| 9 3DS MAX S1                     | 正規                      | 3   | 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> |
| 10 Photography S1                | 正規                      | 3   | 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> |

## 3-1. 授業科目の選択、登録方法

\* 登録時期や千葉大学と異なる方法で登録する場合など具体的に説明してください。

Internationalコース、3つのコース(Industrial Design / Brand Design / Interior Design)の中から、Brand Designコースを選択。→上記1-9までの履修科目。  
またoptionalコース(Illustrator / Photography)から、Photographyを選択。→上記10の履修科目。

## 3-2. 授業内容、方法に関して

長期プロジェクトに関しては、実際に地元のアパレル企業と連携して少人数のグループワークで週1のペースで進めていきました。1セメスターが3回に区切られ、企業の方たちの前でstrategy / concept / final designとプレゼンテーションを行います。  
また、グラフィック等の表現の幅を広げる授業では、平面上のアートワーク、ストーリー性を持たせた新しい手法が用いられたコミックの作成を行いました。技術面として、3Dモデリングと写真の撮り方の授業、社会的側面の調査をした人間行動学などの授業がありました。フランス語の基礎授業もあります。  
クライアントととのプロジェクトに関しては千葉大学のプロダクトデザインコースの進め方と似ていますが、実際に手を動かしてスケッチをしていくグラフィックの授業など基本的に欧米の直感的な考え方を取り入れ論理的にデザインを詰めていく授業が多かったように思えます。

## 3-3. 語学力について

Internationalコース自体、60名の留学生で成り立っています。そのうちの半分が、フランス他地域からの留学生、残り半分が世界各国からの留学生です。そのため、基本授業は英語で行われます。しかしフランス人の割合が高く普段の生活は、フランス語を使うことを余儀なくされます。フレンチイングリッシュ、また留学生も様々な国から来ているため、英語でプロジェクトは進めますが、独自のアクセントがあるため英語力の向上は本人の日頃の努力次第です。

### 3-4. 図書館など学内施設について

大学近くに、中程度の大きさの図書館があります。デザインやアートに特化した本や雑誌がたくさんあり、専用のカードを作成すると無料wifiも使える本も借りることができるので便利です。授業時間が2時間の時に利用するのも良いです。  
また近くに学生の食堂があります。大体3.25ユーロでお腹いっぱい食べられますが、大学のエリアは2大学そして1研究所が密集しているので、すべての学生が集まりとても混みます。お昼休憩が1時間、節約のために多くの学生は自炊してお弁当を持ってきて、大学のカフェテリアに設置させた電子レンジで温めて昼食を済ませます。電子レンジも並ぶのに30分かかります。コピー機は大学内にしかなく、専用のカード・paypalを作る必要があります。

### 3-5. その他

基本的にフランスのお店・施設は8:00~20:30まで。銀行などの公的機関の事務は平日17時まで。土曜は午前中のみ。日曜は90パーセントのお店が休みです。  
画材屋さんなどほとんどのお店は、お昼休憩12:30~13:30でとるため、この間は利用できません。公的機関の書類申請などの手続き（銀行開設・定期券発行など）がすべて遅いです。大体2週間~1か月はかかるとみた方がいいです。あまりにも進まない場合は証明書を持って、対面で急かしに行ったらすぐに対応してくれます。また書類はすべてフランス語で書かれています。translateのアプリが役に立ちます。それか英語が話せるフランス人の友達に助けを求めましょう。  
ナントは、大学や研究機関がたくさんあり、留学生も多いので住みやすい街です。街もとても綺麗で、夜も基本的に安全です。イベントや美術館、映画館など文化施設もたくさんあるので休日はほぼ外出していました。  
物価もそんなに高くありません。

## 4. 生活面 \*気づいたこと、心掛けたことなどをご記入ください。

### 4-1. 住居について

私は、大学の学生寮の1室を借りて生活していました。cite Universitaire CHANZYと言うところでセンターに位置していて、中心地に出て買い物をするのには立地がとても良かったです。賃貸料も1か月4万円と比較的安く、共有キッチン・共有洗濯機でしたが快適に過ごせました。しいて言えば、部屋がとても狭く、物の収納スペースが少なかったことが不満でした。しかし、グランド階に共有ルームやプレイルームがあり、大学の留学生の大半がこの寮に住んでいたこともあり皆で助け合いながら課題も進めることができとても心強かったです。  
途中、どこかから持ち込まれたベッドのダニが繁殖し、10人ほど肌に湿疹が出て部屋の清掃・移動がありました。これは運ですが、換気を心がけてください。

### 4-2. 食生活について

大学のアカデミックスケジュールがとても詰まっっていて、平日はいつも夜の19時に終わりそれから買い物に出かける時間はあまりなかったのが、基本土曜日やたまにある休みの平日に1週間分の食料を大きなスーパー（Leclerc / Carrefour）に行って買い込みます。それでもフランスは食料品は消費税が1パーセントと少ないため、1回の買い物で3000~4000円ぐらいしか使わないため食費は外食を抜けばとても安いです。  
また週末はTransacという市場に行き新鮮な魚・お肉・チーズ・有機野菜、果物を仕入れることができます。自炊がとても楽しくなるし地元の人と話したり関わったりすることでフランス生活行動を学べ、慣れていきます。

## 4-3. インターネット環境、携帯電話について

大学、寮、お店、交通機関に無料wi fi が大体備え付けられているので、携帯電話のSIMを契約せずに生活している人もいました。私はTabac屋さん（日本でいう小さなコンビニ）の自動販売機でfreeのSIMを購入し、月19ユーロ、50GBまで使い放題のものを契約しました。海外でデータローミングしても50GBまで行かず、使い放題でとても良かったです。ただ解約の際、フランス語の解約書をパリ支店に書留郵送しなければいけないのが時間がかかり少し面倒くさかったです。

## 4-4. 服装について

私がフランスに滞在したのが9月後半～1月後半。初めは日本の秋服＋ジャケットなどで全然余裕でしたが、さすがに12月、1月になると氷点下をいくこともたまにありダウンジャケットを持って行った方が良いです。ユニクロのウルトラライトダウン、手袋、マフラーは必須です。

## 4-5. 健康管理について

フランス滞在中、2回ほど風邪をひきましたがそれ以外は大きな病気はなかったです。持参したビタミン剤、イブが大活躍しました。フランスでは、日本で加入する海外旅行保険とは別に国の保険SEMEBAにはいることをお勧めされます。病気にかかりやすい人は、この保険で何かのプランに入って月々10ユーロ程度の加入料を払っておいたほうが良いです。いざ薬局で薬を買う際とても安くなります。私は病気をしない、自分で持参したものと食べ物でなんとかしたので最初から入りませんでした。

## 4-6. 保険、OSSMAの利用 \*利用実績等をご記入ください

上記にも記載しましたが、幸い大きな病気にかからなかったためOSSMAなどの保険は一切使いませんでした。ただ他の千葉大生でマレーシアに留学されていた人は一時期、入院まで至る病気にかかっていたのでその時のOSSMAの対処がとてもスムーズだったみたいで加入をお勧めします。

## 4-7. 課外活動について

授業の一環で現地のフランス人たちにインタビューをする現地調査をグループで行いました。また課外活動として、偶然市場で知り合った日本人の方の造船現場を見に行ったり、ナントの芸術大学に留学していた日本人の留学生の方の作品の手伝いをしました。

## 4-8. 学外のコミュニティとの交流について

休みがあれば、留学生たちと展覧会やイベントに参加していたので、現地のフランス人と友達になる機会が増え、寮でも様々なジャンルの留学生が多く必然と学外のコミュニティは増えていきました。また日本人留学生を支える団体「なんとなくナント」という日本語が少し話せるフランス人で構成されている人たちが定期的にイベントを開催してくれていたため、他の大学に留学している日本人の友達が多くできました。個人的にフランス生活に慣れてきた頃に、近くの地域に一人旅をしたりもしていたのでそこで出会ったアーティストの方、ホストファミリーとお話しする時間もありとても意義のある人のつながりができたと思います。

## 4-9. 日本から持参してよかったもの

常備薬(イブ、正露丸、ビタミン剤)  
 マスク数枚(乾燥しています。初めての週などは喉がカラカラになります)  
 コンセントアダプター USBポート付(Cタイプ/BFタイプすべてに対応→2か国行く人は必ず持って行って方が便利です。)  
 手袋、マフラー、ニット帽  
 サニタリー(日本製品が一番です。フランスのも問題はないですが臭いが強いそうです。)  
 食料品(だし、インスタントスープ)  
 ウェットティッシュ  
 使い捨てスリッパ or ビーサン  
 デザイン道具(カッターマット、スケッチマーカー、定規)  
 風呂敷・箸・折り紙(お世話になった方々に渡すお土産)

## 4-10. 日本から持参したが不要だったもの

ポケットwifi  
 炊飯器  
 スーツ

## 4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

フランス人はとてもフレンドリーです。特にナントはブルターニュ地方の大都市。フランス国内でもケルトが残る独特な文化を持っていて、人もとても優しいです。でも英語が話せる人はとても少ないです。たとえ知っていてもフランス語でしか返答しません。  
 人が親しみやすいのは良い点ですが、あまり信じすぎると危険。半分以上が冗談か嘘です。いい意味で適当な付き合いができ、すぐ仲良くなれますが基本自分しか信じないでください。悪い面での適当は、契約がすべて遅いなどに関することです。アジア人は最初から信用してもらえてません。  
 少しでもフランス語を話そうとする意思があれば、相手も気を変えて親身になって聞いてくれます。郷に入れば郷に従え、の精神で頑張ってください。  
 麺は音を立ててすすうのはタブー。食事の前に必ず食前酒とつまみがあります。(これで2時間。喋りながら。この後にメインの食事とワイン1時間。デザート1時間といった形です。)  
 お店に入出は必ず挨拶。(ボンジュール、メルシー、オーボワ)  
 外のパブで飲むのが好きです。朝は意外と早くから行動。お昼休憩は短く17時からフリー。週末は休むもの。バカンスが多い。

#### 4-12. 余暇の過ごし方

旅行 \*複数回出かけた方はすべての日程、行き先、費用等をご記入ください。

ex) 【イギリス・ロンドン&フランス・パリ(観光)】〇〇年〇月(5日間)、約5万円

ポロニック(観光)2016年9月(1日間)、1500円  
 モンサンミッシェル&サンマロ(観光)2016年10月(1日間)、5000円  
 ボルドー(観光)2016年10月(2日間)、1万円  
 パリ(観光)2016年10月(2日間)、8000円  
 ケルン&ボン&デュッセルドルフ(観光)2016年10月(3日間)、2万2000円  
 アントワープ(観光)2016年10月(2日間)、8000円  
 レンヌ(観光)2016年11月(1日間)、1万円  
 ヴァンヌ&カンペール(観光)2016年12月(2日間)、1万5000円  
 ローマ&フィレンツェ&ヴェネチア(観光)2016年12月(5日間)、2万5000円  
 ストラスブール&コルマル(観光)2016年12月(2日間)、3万円  
 カサブランカ&タンジェ&シャウエン(観光)2016年12月(4日間)、6万円

その他 \*気分転換やストレス発散法など。

植物園に行く。  
 星空を見る。  
 気の許せる友だちと話す。  
 川辺でスケッチ・散歩  
 日本庭園に行く。  
 羊を追いかける。  
 飲みに行って友だちと近況の情報交換。

#### 5. 報告

##### 5-2. 留学先大学について(150~200文字)

###### 【ナント大西洋デザイン大学】

フランスでも有名なデザインスクールです。特にナントは、ブルターニュ地方の都市であり教育機関やアートが多く国際的で過ごしやすいです。ナント大西洋デザイン大学はフランスだけでなく世界各国からの留学生で構成されており国際交流が盛んです。授業はクライアント側の現地調査を中心としたグループワークが主で、履修したブランドデザインではストーリー性・グラフィックを学ぶ授業なども組み込まれ手を動かすことを大事にしていました。

###### 【グラスゴー美術大学】

イギリスでも有数のアート大学です。服飾や宝石など幅広い学科があり、マッキントッシュ建築に通います。履修したプロダクトコースでは、実際に地元企業と連携してサービスシステムをユーザー視点中心に考えていくプロジェクトをしていました。また新製品ののための材料発掘授業もあり、学外でも様々なワークショップや展示が街全体で行われています。セメスター終わりには企業の方々も訪れる展示会を行い、仕事につながる機会も多々あります。

## 5-3. 留学中の様子(450~500文字)

一番大切だと思ったことは、コミュニケーションを取ろうという姿勢です。フランス滞在では、日常生活言語がフランス語であり、スコットランドは英語ですがグラスゴー独特の強い訛のあるスコットッシュ英語だったので、初めは聞き取れない・伝わらないで大変でした。自分なりに言語だけでなくどうしたらうまく伝わるか様々コミュニケーションツールを試して、お互いに通じ合った時にとっても達成感を覚えました。その中でも同じ立場のインターナショナルの交換留学生、現地日本人留学生たちはとても心強い支えでした。授業でも私生活でも精神的なコントロールも取れ、慣れてくると一人でよくイベントや国内のまだまだ知らない場所に足を運んでいました。元々、現地の人たちと話すことで違う考え方を得たり、つながりを持つことが好きだったのでどちらの留学先もとてもクリエイティブな活動が多くすごく良かったです。中で幸運なことにいい縁ができ実際のスタジオ見学した機会もありとても充実していました。全く違うシステム、考え方、天候の2か国に行けたのは期間は短かったですが、少し国内だけでは取り入れることのできなかった感性を得られ成長できた気がします。

## 5-4. 留学希望者へのアドバイス(300~400文字)

初めは、とても不安なこと、楽しみなことが多く複雑な気持ちだと思います。私自身、一人暮らし自体も初めてで知らない土地で暮らしていくことに不安がありました。けれど、何事もまず自分から怖がらずに一步踏み出してみることが大事だと思います。基本的に欧米の人たちは、個人主義の環境で育ってきているので自主的に向こうから手を貸してくれることは滅多にありません。しかし自分から発信しようとしている人にはちゃんと行動で返してくれます。どんな些細なことでもいいのでアクションをまず自分から起こすこと、そして色々な信じられないトラブルが起こりますが全てを笑い飛ばすくらいのポジティブな考え方で受け止めていくと海外生活が楽しくとても居心地よくなってきます。ヨーロッパの人たちは感情に正直で裏表がないので、わかりやすくとても付き合いやすいです。何より土地が広いので街を巻き込んだイベントなどが多くて新鮮です。

## 5-5. 留学を終えて \*派遣留学プログラムについて、今後の目標、進路、自信がついた部分、不安に思うことなどな

たまたまいい機会を留学中に得ることができたので、そのつながりで日本でのインターンを考えています。また、修士論文テーマにもいいきっかけとなる経験ができたので、活かせると良いと思います。学部生、交換留学と自分の中に外からの刺激を取り入れる(インプット)がとても大きかったので、帰国後またこれからは自分の中で消化したものを外に発信していく(アウトプット)をメインにして実行に移していきたいです。今回色々な方々に支えられこの交換留学ができたと実感しております。本当にありがとうございました。

お疲れ様でした

















んでも。